

部 局	都市活力部	補 職	都市活力部長	氏 名	長坂 吉忠
-----	-------	-----	--------	-----	-------

1. 部局の使命

「暮らしの舞台として選ばれるまちにする」
 定住・関係・交流人口の獲得に向けて、住まいに加え仕事や活動、学びや憩いなど、本市が「暮らしの舞台」として、市内外の多くの方々から支持され、選ばれるまちになるため、地域や民間との連携を強化しながら、体系的・総合的に施策を展開します。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>【基本姿勢】 ○使命を遂行するにあたり、部内各課において次の姿勢を基本に据え、取り組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の地域資源と潜在力（交通インフラ、文化、スポーツ、産業資源等）を活かします。 ・市民や地域、民間など多様な主体と連携しヒト・モノ・コトの交流、集積を促します。 ・新たな発見と価値を暮らしに提案し、分かりやすく伝えます。 <p>1. 豊中の魅力の創出と発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2期豊中ブランド戦略に基づき、本市の持つ可能性と強みを最大限に引き出し、豊中ならではの魅力を創出・発信する取り組みを実践します。 <p>2. 人と文化を育む創造性あふれるまちの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術推進基本計画に基づき、多様な主体との連携のもと、市民の文化芸術の振興とともに、文化芸術の力をまちづくりに活かす取り組みを進めます。 <p>3. スポーツに親しむ機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員協議会とも連携し、市民のスポーツへの興味・関心を高め、親しむ機会の充実を図ります。 <p>4. 大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進と環境・安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港周辺環境対策の充実を図るとともに、空港機能の利活用促進に取り組みます。 <p>5. 産業のあるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業のまちとして選ばれるため、安定した操業環境を整えるなど、中小企業の産業振興に係る取り組みを推進します。 <p>6. 都市農業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市農業振興基本計画に基づき、都市農地の保全と活用を図る取り組みを展開します。 	<p>1. 豊中の魅力の創出と発信 市内各所でのストリートピアノコンサートや豊島公園へのロックフェス誘致、さらにはインスタグラムの活用など、積極的に本市の新たな魅力の創出と発信を図りました。</p> <p>2. 人と文化を育む創造性あふれるまちの推進 「ホールでオーケストラ」事業を小学生にも拡充するほか、こども園へのアーティスト派遣など、子どもたちが文化芸術に触れる機会を拡充しました。</p> <p>3. スポーツに親しむ機会の充実 パラリンピック採火式や高校サッカー100回大会記念事業など、市民がスポーツに触れ、親しむ機会の充実を図りました。</p> <p>4. 大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進と環境・安全対策の充実 大阪国際空港周辺地区整備構想を取りまとめるとともに、原田緩衝緑地の整備に向けた取り組みに着手しました。</p> <p>5. 産業のあるまちづくりの推進 デジタル商品券事業など市内事業者の事業活動の下支えに取り組むとともに、今後の本市の産業振興の在り方を示した新・産業振興ビジョンを取りまとめました。</p> <p>6. 都市農業の振興 グリーンスポーツセンターでの朝市の定着など、豊中市産野菜の直売の機会の拡充を図りました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>豊中の魅力の創造と発信</p> <p>第2期豊中ブランド戦略に基づき、取組みを進めます</p> <p>○めざすべきまちの姿 様々な出会いや交流、学びの機会を通して、仲間や地域とともに、一人ひとりが自分らしい暮らしを育み、創造できるまち</p> <p>○具体的な展開の考え方 *まちの良さを体感できる場・機会を創り出し、参加者等の心地よい体験を増やします。 *市内外を問わず豊中に関わる人をできるだけ多く巻き込み、活気と拡散力を高めます。 *SNSをはじめ多様な媒体を活用し、多くの人々とのコミュニケーションを確保します。</p> <p>○コロナへの対応 *その時々状況に合わせて事業規模を伸縮させながら、感染対策に万全を期し、可能な限りリアルでの出会い・交流の場・機会の確保に努めます。</p> <p>○豊中のまちの魅力・価値を高める *とよなか創造界限アートプロジェクト（野点6月～11月） *沖縄市兄弟都市交流（7月、1月） *サンマテオ市姉妹都市交流（8月オンライン交流、1月弁論大会等） *豊中まつり（10月）</p> <p>○豊中の魅力・価値を伝える *市公式インスタグラムの運用（通年） *ストリートピアノの設置（通年）、コンサート等の実施（年4回） *豊南市場サウンドステーションの活用（年3回） *助成金制度を活用した市民活動の取組支援（魅力アップ助成金（4月募集）、まちづくりにぎわい事業助成金（5月募集）） *山田監督作品先行上映（7月） *とよなか体験大学（南部先生生誕100年）（8月～9月） *音楽月間・まちなかクラシック（10月～11月）</p>	<p>○まちの魅力を高める *野点 まちあるき6回、野点2回。参加者のべ318人 *兄弟都市交流 中止 *姉妹都市交流 オンライン交流会を実施。参加者34人 *豊中まつり web配信を実施。web閲覧者10,179件、YouTube視聴数4,696件</p> <p>○まちの魅力伝える *インスタグラムの運用 フォロワー数2,679人（3月31日現在。年度当初比825人増） *ストリートピアノプロジェクト コンサート10回（参加者735人）、巨大絵本づくり2回（参加者80人）、動画配信24件 *豊南市場サウンドステーション コンサート3回（参加者610人） *魅力アップ助成金 応募12件（交付6件）、まちづくりにぎわい助成金 応募10件（交付9件） *山田監督作品先行上映 1回（参加者446人） *とよなか体験大学（南部先生生誕100年展示6日間（来場者100人）、動画配信1回（視聴数479回） *音楽月間・まちなかクラシック 7会場・8公演（参加者300人）</p>	<p>○まちの魅力を高める ストリートピアノについて、多くの人の興味・関心を惹きつけ続けられるような、新たな展開を打ち出します。</p> <p>○まちの魅力伝える より効果的な発信ができるよう、インスタグラムのコンテンツや音楽あふれるまちのPRプロモーションの充実に取り組みます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>5-2-③ 都市の価値の創造と魅力の発信を進めます。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>43 豊中ブランドの推進(豊中ブランド推進機構の創設など)</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>人と文化を育む創造性あふれるまちの推進</p> <p>○文化芸術推進基本計画に基づき、5つの推進プログラムを展開し、文化芸術の振興に取り組みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文化芸術を活かしたまちづくりの推進 2. 人材の育成と文化芸術活動の支援 3. 音楽あふれる街づくりの推進 4. 地域資源の活用と発信 5. 文化芸術環境の充実 <p>こうした方向性を踏まえ、本年度は次代を担う子どもたちの創造性を育む取組みを新たに2つ立ち上げるとともに、以下の取組みを展開します。</p> <ul style="list-style-type: none"> *文化施設の指定管理者との連携、適切な管理運営(通年) *助成金制度を活用した市民活動の取組み支援(文化芸術振興助成金(4月募集)) *大阪大学総合学術博物館連携事業(4月～6月) *世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭(1月～2月) *ホールでオーケストラ(小・中学生の舞台芸術体験事業)(1月～2月) *こども園へのアーティスト派遣(時期は関係者と調整して決定) 	<ul style="list-style-type: none"> *指定管理者との連携 小学校9校(79クラス)へのレジデントアーティスト派遣など。 *文化芸術振興助成金 応募24件(交付10件) *大阪大学総合学術博物館連携事業 企画展(来場者823人)。 *世界のしょうない音楽音楽祭 ワorkshop6回 音楽祭1回(参加者延べ229人) *「ホールでオーケストラ」事業を小学生にも拡充し、小学校25校の4年生の子どもたちを文化芸術センター大ホールに招待し、本格的なクラシック音楽に親しんでもらいました(中学生は4校)。 *こども園(栄町こども園)へアーティストを派遣し、年長組1クラス(20人)を対象に8回、絵画のプログラムを実施しました。 	<p>次年度の音楽月間10周年の機会を捉えて、さらに子どもたちに音楽をはじめとする文化芸術に触れる機会を増やします。</p>
	<p>総合計画</p> <p>4-2-① 文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>11 文化芸術の創造(新・文化芸術推進ビジョンの策定、文化芸術振興助成金創設、文化芸術フェスティバルの開催)</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>スポーツに親しむ機会の充実</p> <p>○スポーツ団体の活動を支援するとともに連携してスポーツ振興を進めます。</p> <p>○スポーツ推進計画に基づく取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> * トライウォーキング (10月・3月) * (仮称) とよなかチャレンジスポーツフェスタ (10月) * ニューススポーツデー (通年) <p>○次期スポーツ推進計画策定に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> * 市民のスポーツ実施状況等調査の実施 (10月) <p>○スポーツの魅力を感じ取る機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> * パラリンピック採火式 (8月) * 高校サッカー100回大会記念事業の実施 (12月) * グリーンスポーツセンター特別企画イベント (10月) <p>○指定管理者と連携した施設の円滑な運営</p> <ul style="list-style-type: none"> * 指定管理者の交代により事務の停滞等を招くことなく円滑に施設運営を行うことができるよう、加えて地域のスポーツ団体との関係性構築や地域貢献への取組みを積極的に進めていくことができるよう、新たな指定管理者を支援します。 <p>○施設の機能更新等</p> <ul style="list-style-type: none"> * 武道館ひびき空調設置工事 (2月竣工) * 豊島庭球場更衣室空調設置工事 (6月竣工) * 豊中ローズ球場改修のあり方検討 (7月頃までに) * 柴原体育館特定天井工事設計 (年度内完了) 	<p>○コロナ禍により中止せざるを得ない事業等もありましたが、おおむね予定通り事業を展開しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> * トライウォーキング (10月・3月実施。参加人数合計29人) * とよなかチャレンジスポーツフェスタ 中止 * ニューススポーツデー (17回開催、参加人数合計352人) * 12月に市民アンケート実施 (18歳以上の市民3,500人。回答率29.3%)。加えて市内小学生 (2年生、5年生) ・中学2年生を対象に、運動習慣等に関するネットアンケートも合わせて実施しました。 * パラリンピック採火式 (8月実施。参加者33人、一般観覧者25人) * グリーンスポーツセンター特別企画イベント実施 (10月)。施設のライトアップやスポーツイベント、アート作品展示などを展開しました。 * 高校サッカー100回大会記念事業は10月～2月にかけて、PR動画制作や企業協賛による子どもサッカーフェスなどを実施しました。 * 施設の機能更新等については、ローズ球場改修の在り方を明らかにしたほか、工事等案件は予定どおり実施しました。 	<p>長引くコロナ禍で、特に子どもの運動機会の減少への対策に取り組みます。</p>
総合計画			
	4-3-② 生涯を通じて、健康で生きがいをもって暮らせる環境づくりを進めます。		
基本政策			
12	スポーツ環境の充実 (スポーツ施設の再整備、市民スポーツ団体連携強化)	40	生涯現役促進事業の推進
44	アマチュアスポーツ発祥の地推進事業の展開		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進と環境・安全対策の充実</p> <p>○航空機騒音に対する空港周辺環境対策 * 空気調和機器更新工事助成の継続及び独居世帯を助成対象とするよう関係機関へ要望(8月) * 低騒音機材の導入促進や発着時間規制の順守、遅延便対策等について、国土交通省などの関係機関への働きかけと周辺地域住民との意見交換の実施(関係者と日程調整のうえ設定) * 騒音測定局の移設に向けた調整(通年。年度内完了) * 遅延便について共通理解の形成と取り扱いのルール化に向け、地元や関係機関との協議の継続(通年)</p> <p>○空港機能の利活用促進 * 就航都市のPR及び都市間交流の促進について、より効果的な方法を模索し、試行(通年) * 国内長距離便の便数制限の緩和を関係機関に要望(8月)</p> <p>○空港周辺地域整備 * 空港周辺地域整備構想の策定(2月末) * 騒音対象区域を中心とした市民への説明・意見交換(上半期) * 原田緩衝緑地整備・利活用に向けた民間事業者サウンディング調査の実施(上半期) * 千里川土手の舗装整備の実施と利活用に関する関係機関との協議(通年)</p> <p>○共同利用施設のあり方の検討 * 共同利用施設の新たな運用方法と「地域コミュニティ施設の再整備プラン」について、各管理運営委員会への説明・意見交換(通年) * 利倉センターの駐車場・広場整備の検討(上半期)</p>	<p>○10市協を通して、空港周辺環境対策や空港機能の利活用促進に関する要望を行いました。</p> <p>○空港運営会社や航空会社等への働きかけにより、遅延便の大幅減少につながりました。</p> <p>○空港周辺地域整備構想を取りまとめるとともに、原田緩衝緑地整備に向け、実際の整備・管理運営事業者公募の準備作業に着手しました。</p> <p>○千里川土手の利活用について、空港運営会社、河川管理者である大阪府と本市との検討・協議の場を設定し、当面の利活用・整備の着手と、今後の(仮称)原田緩衝緑地整備との一体的な整備・利活用の進め方について合意形成を図りました。</p> <p>○共同利用施設の今後の更新・設備充実・管理運営の方針について、大阪国際空港周辺整備構想で方針化し、地元管理運営委員会への説明・意見交換に着手しました。</p>	<p>○遅延便の取り扱いのルール化について地元や関係機関との協議を継続します。</p> <p>○次年度末には、原田緩衝緑地の整備・管理運営事業者(DBO方式)の公募を行うなど、完成までの予定する工程を着実にクリアしていきます。</p> <p>○千里川土手の整備・利活用について、関係機関と具体化を進めます。</p> <p>○共同利用施設の今後の更新・設備充実・管理運営の方針について、地元管理運営委員会への説明・意見交換を進め、具体化につなげます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>3-1-③ 環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます。</p>	<p>3-4-① 地域特性を活かした都市の拠点づくりを進めます。</p>	
	<p>基本政策</p> <p>26 大阪国際空港を活かしたまちづくり(大阪国際空港の活性化、魅力スポット整備、緩衝緑地の有効活用、周辺地区環境・安全対策の充実)</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
5	<p>産業のあるまちづくりの推進</p> <p>○企業立地促進計画に基づく施策の具体化 *重点エリアの指定(3月条例改正、令和4年(2022年)4月条例施行) *多様な産業集積を図るため、立地促進奨励金の対象業種の拡大等の検討(令和3~4年度検討)</p> <p>○新・産業ビジョンの策定 *中長期的な視点での本市の産業振興の施策展開の方向性等を明示(12月素案策定、1月意見公募、2月策定)</p> <p>○「地域経済再生支援プログラム」に基づく取組みの推進 *キャッシュレス決済ポイント還元事業(6月~7月)、ITコンシェルジュ派遣事業(4月募集)、売上アップ応援金(4月募集)、展示会等出展支援補助金(4月募集) *令和2年度に実施したプレミアム付商品券事業の効果検証を行い、今年度はより効果的な需要喚起策を検討・実施します。</p>	<p>○企業立地促進計画に基づく施策の具体化 *原田中1丁目内(約2.8ha)に重点エリアを設定しました(3月)。</p> <p>○これからの本市の産業振興のあり方を示す新・産業振興ビジョンを策定しました(3月)。</p> <p>○「地域経済再生支援プログラム」に基づく取組みの推進 *プレミアム付き商品券事業やキャッシュレス決済ポイント還元事業、ITコンシェルジュ派遣など、市内事業者の下支えに取り組みました。</p> <p>・プレミアム付き商品券事業とキャッシュレス決済ポイント還元事業を合わせた消費喚起効果額：約77億円以上。</p>	<p>○新・産業振興ビジョンに基づき、取組みを進めます。</p> <p>○企業立地対象業種の拡大等についての検討を本格化します。</p> <p>○引き続き、市内事業者の下支えにつながる取組みを継続します。</p>	
	総合計画			
	3-5-① 地域産業の活性化による都市のにぎわいづくりを進めます。	3-5-②	新たな事業の創出や担い手の育成を支援します。	
基本政策				
	25 企業立地支援方策の充実	45	新・産業ビジョンの策定	
	48 起業チャレンジセンターのリニューアル検討			

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	都市農業の振興	<p>○コロナ禍により田植え・稲刈り体験は中止になりましたが、サツマイモ栽培体験ほか、玉ねぎ栽培体験も実施しました。</p> <p>サツマイモ栽培体験(4回)20組参加(大人41人、子ども20人)</p> <p>たまねぎ栽培体験(5回)20組参加(大人40人、子ども32人)</p> <p>○事業者とのマッチングには至らなかったが、障がい者施設が水耕栽培した葉物野菜をコラボ朝市に出品するようになりました。</p>	<p>○引き続き、都市農業振興基本計画に基づき、市民農業体験事業を計画するとともに、地元農産物の利活用を進めます。</p>
	<p>○都市農業振興基本計画に基づく取組みの推進</p> <p>*市民農業体験事業の実施</p> <p>さつまいも栽培体験(5月・10月)</p> <p>田植え・稲刈り体験(6月・10月)</p> <p>*地産地消の一層の推進</p> <p>事業者による地元農産物の利活用促進</p>		
総合計画			
	3-1-② 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境づくりを進めます。		
基本政策			
	46 都市農地の保全活用		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>豊中の魅力の創造と発信</p> <p>○第2期豊中ブランド戦略に基づく取組みの推進 豊中のまちの魅力・価値を高め・伝えることにより、シビックプライドの醸成と本市の都市ブランドの向上を図ります。</p> <p>主な目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も住み続けたいと思う市民の割合 85% (令和元年) ⇒ 85%以上を維持 (令和5年度) ・社会増加数 2,448人 (令和元年) ⇒ 増加 (令和5年度) ・魅力発信サイトアクセス数 72,912件 (令和元年) ⇒ 150,000件 (令和5年度) ・その他 (交流人口・関係人口の増加など) 	<p>○継続して実施</p> <p>○令和4年度 (2022年度) *音楽月間10周年記念イベント実施</p> <p>○令和6年度 (2024年度) *次期ブランド戦略に基づく取組み開始</p>
総合計画		
	5-2-③ 都市の価値の創造と魅力の発信を進めます。	
基本政策		
	43 豊中ブランドの推進(豊中ブランド推進機構の創設など)	
2	<p>市民の文化芸術の振興</p> <p>○文化芸術推進基本計画に基づく取組みの推進 同計画に基づき、具体的施策を総合的に展開し、人と文化をはぐくむ創造性あふれるまち豊中の実現をめざします。 そのために以下の点を重視し、取組みを進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> *住宅都市・豊中の歴史や価値が息づく地域資源の積極的な活用 *多様な主体との連携により、様々な分野に文化芸術を活かす *次代を担う子どもたちへの積極的なアプローチ *文化芸術センターを活用した取組みの推進 	<p>○継続して実施</p> <p>○令和5年度 (2023年度) 指定管理者中間評価</p> <p>○令和9年度 (2027年度) 計画期間終了</p>
総合計画		
	4-2-① 文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます。	
基本政策		
	11 文化芸術の創造(新・文化芸術推進ビジョンの策定、文化芸術振興助成金創設、文化芸術フェスティバルの開催)	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	<p>新たなスポーツ推進計画に基づく取組みの推進</p> <p>○令和4年度（2022年度）に新たなスポーツ推進計画を策定します。</p> <p>○令和5年度（2023年度）以降は同計画に基づき、市民スポーツ振興に向けたさまざまな事業を展開します。</p> <p>○豊中ローズ球場の改修をはじめ、計画的に施設の機能更新等の準備・実施に着手します。</p> <p>○体育施設の将来の整備等の方向性について、検討を行い、考え方を取りまとめます。</p>	<p>○令和4年度（2022年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> * 庄内体育館空調設置実施設計 <p>○令和5年度（2023年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> * （仮称）新スポーツ推進計画に基づく取組み開始 * 指定管理者中間評価 * 庄内体育館空調設置工事 * 柴原体育館特定天井工事
総合計画		
	4-3-② 生涯を通じて、健康で生きがいをもって暮らせる環境づくりを進めます。	
基本政策		
	12 スポーツ環境の充実（スポーツ施設の再整備、市民スポーツ団体連携強化）	40 生涯現役促進事業の推進
	44 アマチュアスポーツ発祥の地推進事業の展開	
4	<p>空港を活かしたまちづくりの推進と環境・安全対策の充実</p> <p>○遅延便について、取り扱いのルール化を図り、地元や関係機関との合意形成につなげます。</p> <p>○千里川土手や原田緩衝緑地の有効活用策や具体的な整備手法等について、関係機関や空港周辺地域住民との合意形成につなげます。</p> <p>○就航都市との交流を継続し、交流先の拡大や市民レベルでの交流等につなげます。</p>	<p>○令和4年度（2022年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 原田緩衝緑地整備に係る基本設計・実施設計 利倉センター駐車場・広場整備工事 <p>○令和5年度（2023年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 原田緩衝緑地整備に係る基本設計・実施設計（第3四半期をめぐり） 原田緩衝緑地整備工事 <p>○令和6年度（2024年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 原田緩衝緑地整備工事・竣工（3月末）
総合計画		
	3-1-③ 環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます。	3-4-① 地域特性を活かした都市の拠点づくりを進めます。
基本政策		
	26 大阪国際空港を活かしたまちづくり（大阪国際空港の活性化、魅力スポット整備、緩衝緑地の有効活用、周辺地区環境・安全対策の充実）	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
5	新・産業ビジョンに基づく施策の実施 ○デジタル化の推進や新たなチャレンジを促す環境づくりなど、コロナ後を見据え、市内産業の振興につながる取組を展開します。 ○地域特性や新たな生活様式に対応した都市機能の誘導の観点から、立地促進奨励金の対象業種の拡大等を検討します。		○令和4年度（2022年度） 新・産業ビジョンに基づく取組みの開始 重点エリアの支援策を実施 立地促進奨励金の対象業種の拡大等を検討 ○令和5年度（2023年度） 拡大した立地促進奨励金での支援を実施	
	総合計画			
	3-5-①	地域産業の活性化による都市のにぎわいづくりを進めます。	3-5-②	新たな事業の創出や担い手の育成を支援します。
	基本政策			
	25	企業立地支援方策の充実	45	新・産業ビジョンの策定
	48	起業チャレンジセンターのリニューアル検討		
6	都市農業の振興 ○都市農業振興基本計画に基づく取組みの推進 農業に親しむ機会の確保と豊中農業への一層の理解の促進等を図りながら新たな担い手の発掘・育成にも取組み、都市農地の保全と活用につなげます。		○継続して実施 計画期間：令和11年度（2029年度）まで	
	総合計画			
	3-1-②	自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境づくりを進めます。		
	基本政策			
	46	都市農地の保全活用		